

職業に関する各教科の今後の在り方について(たたき台)

農業科の今後の在り方について（たたき台）

現状と課題

- ・安全・安心な食料の持続的・安定的な生産と供給
- ・農業の六次産業化とグローバル化
- ・消費者ニーズと食をめぐる課題の多様化
- ・農業の技術革新と高度化
- ・農業・農村の有する多面的機能の維持
- ・森林等地域資源の有効活用

育成する人材像

- ・農業の学びを通して、地域農業及び地域産業・地域社会の持続的な発展を担う職業人

育成する資質・能力

- 個別の知識・技術
農業の各分野に関する知識と技術、農業の社会的意義や役割の理解
- 思考力・判断力・表現力等
農業に関する課題を発見し、職業人としての倫理観をもって合理的かつ創造的に解決する能力
- 学びに向かう力、人間性等
職業人として必要な豊かな人間性、より良い社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度

見方や考え方等

- ・農産物の生産や経営の視点から農業や関連産業を捉え、生産性及び品質向上や経営改善に向けて考察し実践すること
- ・農産物の加工や流通の視点から農業や関連産業を捉え、生産性及び品質向上や経営改善に向けて考察し実践すること
- ・農地や森林の保全や環境修復・再生の視点から農業や関連産業を捉え、地域の環境創造に向けて考察し実践すること
- ・農業生物や地域資源の活用の視点から農業や関連産業を捉え、地域創造と生活の質的向上に向けて考察し実践すること

科目構成の方向性

- ・現在の「農業経営、食品産業分野」と「バイオテクノロジー分野」を再構造化し、バイオテクノロジーを含む「農業生産や農業経営の分野」と「食品製造や食品流通の分野」に整理
- ・農業の各分野において、持続可能で多様な環境に対応した学習の充実
- ・農業経営の六次産業化や法人化等に対して経営感覚の醸成を図るための学習の充実
- ・安全・安心な食料の持続的な生産と供給に対応した学習の一層の充実
- ・農業の技術革新と高度化等に対応した学習の充実
- ・農業の持つ多面的な特性を学習内容とした地域資源に関する学習の充実

学びの例

～深い学び、対話的な学び、主体的な学び～

- ・学習意欲を喚起するための、栽培や飼育、環境調査などの体験的・継続的な学び（計画、観察、記録、まとめ、分析と考察等）
- ・思考力・判断力・表現力を育成するための、農業生物の特性と地域環境を科学的に捉える学び
- ・課題解決能力を育成するための「課題設定、計画立案、実施、反省・評価」の過程を通じた学び（学校農業クラブ、プロジェクト学習）

工業科の今後の在り方について(たたき台)

現状と課題

- ・ものづくり産業を担う創造性をもった人材の育成
- ・若年技術者・技能者の育成を図るため、ものづくり産業における技術や技能の伝承
- ・安全・安心な社会の構築に向けて、ものづくり人材が持つべき倫理観を高めることの必要性
- ・IoT(ものづくりの効率化と生産性向上を図るものインターネット)への対応や、製造現場等で人と協調する自動化システム(人工知能等)の技術革新の開発が加速すること等、ものづくりの在り方への対応
- ・地球温暖化など環境保全や、資源の枯渇、電力や化学をはじめとするエネルギーの有効な活用に関する課題への対応
- ・標準化の確立による競争など、産業のグローバル競争が激化することへの対応

育成する人材像

- ・ものづくりを通して、地域・産業を支え新たな時代を切り拓く創造性豊かで実践的な技術者

育成する資質・能力

- 個別の知識・技術
工業の各分野に関する知識と技術、工業の社会的意義や役割の理解
- 思考力・判断力・表現力等
工業の各分野に関する諸課題を発見し、技術者としての倫理観をもって合理的かつ創造的に解決する能力
- 学びに向かう力、人間性等
工業を支える技術者として必要な豊かな人間性、より良い工業と社会の構築を目指して自ら学び、工業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度

見方や考え方等

- ・安全で安心な製品を提供する視点からものづくりを捉え、製造現場における合理的なものづくりの方策の活用に向けて考察し、社会を支える付加価値の高い創造的な製品の開発を図ること
- ・工業の各分野で情報化が図られている視点からものづくりを捉え、高度に発展する情報技術を製造現場等での有効な活用に向けて考察し、自動化システムの発展を図ること
- ・持続可能な社会の構築の視点からものづくりを捉え、資源・エネルギーの有効活用、環境保全に向けて考察し、ものづくりの発展を図ること

科目構成の方向性

- ・工業の各分野で横断的に履修する科目について、知識や技術及び技能の活用に関する学習の充実
- ・情報技術分野と電子分野に関わる組み込み技術について知識と技術の一体的な習得を図る学習の充実
- ・電子機械に関わる知識と技術の活用に関する学習の充実
- ・環境問題や省エネルギーに対応した学習の充実
- ・耐震技術やユニバーサルデザイン等の知識と技術に関する学習の充実
- ・グローバルな視点を取り入れた学習の充実
- ・その他、技術の高度化や情報技術の発展等への対応に関する学習の充実

学びの例～深い学び、対話的な学び、主体的な学び～

- ・知識や技術などを身に付けるため、ものづくりに関して、科学的な根拠を踏まえた実験や実習などの実践的な学び
- ・工業の意義や工業技術を理解し、工業に関する諸課題を発見するため、具体的な事例を取り上げ、科学的な根拠を踏まえた考察や討論などの学び
- ・身に付けた知識や技術及び技能を活用するため、産業界等との協働による研究開発や地域の課題の解決につながる製品の考案などの学び
- ・産業現場での事故や事件に遭遇しないため、法令遵守や技術者倫理を高めることにつながる学び

商業科の今後の在り方について(たたき台)

現状と課題

- ・グローバル化の急速な進展
- ・ICTの進歩とインターネットを活用したビジネスの普及
- ・観光立国を目指した観光産業の振興
- ・地域ビジネスの活力の低下
- ・コミュニケーション能力の低下

育成する人材像

- ・ビジネスを通して、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人

育成する資質・能力

- 個別の知識・技術
商業の各分野に関する知識と技術、ビジネスの社会的意義や役割の理解
- 思考力・判断力・表現力等
ビジネスに関する課題を発見し、職業人としての倫理観をもって合理的かつ創造的に解決する能力
- 学びに向かう力、人間性等
職業人として必要な豊かな人間性、より良い社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度

見方や考え方等

- ・マーケティングの視点から企業活動を捉え、顧客満足の実現と顧客の創造に向けて考察し、企業の発展を図ること
- ・マネジメントの視点から企業活動を捉え、経済社会の動向や法令等を踏まえた適切な意思決定に向けて考察し、企業の発展を図ること
- ・会計の視点から企業活動を捉え、適切な会計情報の提供及び効果的な会計情報の活用に向けて考察し、企業の発展を図ること
- ・情報の視点から企業活動を捉え、ビジネスに関する情報の適切な処理及び情報や情報通信技術の効果的な活用に向けて考察し、企業の発展を図ること

科目構成の方向性

- ・観光に関する知識と技術を習得させ、観光の振興に取り組む態度を育成する学習の一層の充実
- ・ビジネスにおけるコミュニケーションに関する学習の充実
- ・商品の開発と流通に関する知識と技術の一体的な習得
- ・ビジネスに関わるマネジメントに関する学習の充実
- ・経済のグローバル化に関する学習の充実
- ・情報通信ネットワークを活用したビジネスに関する学習の充実
- ・プログラミングとシステム開発に関する知識と技術の一体的な習得
- ・情報通信ネットワークの構築・運用管理とセキュリティに関する学習の重点化

学びの例～深い学び、対話的な学び、主体的な学び～

- ・知識や技術を身に付けるための、科学的な根拠を踏まえた実験的・実証的な学び
- ・ビジネスの意義や実際のビジネスを理解し、ビジネスの課題を発見するための、具体的な事例を取り上げた考察や討論などの学び
- ・企画力や創造力を養うための、産業界等との協働による商品の開発やビジネスの考案などの学び
- ・実社会で実践する力を磨くための、地域における模擬株式会社経営などの学び

水産科の今後の在り方について（たたき台）

現状と課題

- ・水産業との共存を図った持続可能な海洋利用への対応
(海洋環境保全、海洋開発、里海づくり等)
- ・水産物需要の世界的な変化に対応した競争力のある水産業への展開
(TPP、輸出促進、技術革新等)
- ・資源管理を考慮した品質重視型漁業への対応
(ブランド化、HACCP、トレーサビリティ等)
- ・活力ある生産構造の構築
(六次産業化、加工品の開発、魚食普及等)
- ・産業のグローバル化への対応
(海上交通等の国際標準化、加工施設・養殖施設の海外進出等)

育成する人材像

- ・水産業や海洋関連産業を通して、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人

育成する資質・能力

- 個別の知識・技術
水産や海洋の各分野に関する知識と技術、水産業及び海洋関連産業の社会的意義や役割の理解
- 思考力・判断力・表現力等
水産や海洋に関する課題を発見し、職業人としての倫理観をもって合理的かつ創造的に解決する能力
- 学びに向かう力、人間性等
職業人として必要な豊かな人間性、より良い社会の構築を目指して自ら学び、水産業及び海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度

見方や考え方等

- ・海洋漁業の視点から水産や海上交通を捉え、環境や資源等に配慮した安全で経済的な漁業や船舶運航の実現に向けて考察し、適切に実践すること
- ・海洋工学の視点から船舶や海洋関連機器を捉え、環境に配慮した安全で経済的なマリンエンジニアリングの実現に向けて考察し、適切に実践すること
- ・情報通信の視点から海上における情報伝達を捉え、セキュリティを考慮した円滑な通信業務の実現に向けて考察し、適切に実践すること
- ・資源増殖の視点から水生生物を捉え、生態系や環境に配慮した安全で経済的な養殖業の実現に向けて考察し、適切に実践すること
- ・水産食品の視点から食品の製造や流通を捉え、品質管理・衛生管理を考慮した安全で経済的な水産食品の持続的な供給に向けて考察し、適切に実践すること

科目構成の方向性

- ・水産の各分野において、海面の多様な利用を踏まえ、海洋環境基準及び環境保全等に対応した学習の充実
- ・水産の各分野において、水産や海洋に関連する機器や流通等の技術革新に対応した学習の充実
- ・水産の各分野において、船舶や企業内における情報セキュリティや、食品の安全に関わる産業としての危機管理に関する学習の充実
- ・水産物・水産加工品の品質管理・衛生管理に関する学習の充実
- ・漁業、水産加工業における基礎的・基本的な経営に関する学習の充実
- ・漁船をはじめとした船員養成の国際基準等に対応した学習の充実

学びの例 ～深い学び、対話的な学び、主体的な学び～

- ・水産や海洋における知識や技術などを身に付けるための、科学的な根拠を踏まえた実験的・実証的な学び
- ・水産業や海洋関連産業の意義を理解し、実際の地域産業における具体的な事例を取り上げ、その課題を発見するための考察や討論などの学び
- ・地域の課題を解決する企画力や創造力を養うための、産業界等との協働による商品の開発や知的財産権などの学び
- ・産業社会で実践する力を磨くための、実習船や産業現場における長期の実習などの学び

家庭科の今後の在り方について(たたき台)

現状と課題

- ・食育の推進や専門性の高い調理師養成への対応
- ・少子高齢化への対応
- ・価値観やライフスタイルの多様化、複雑化する消費生活等、現代的な課題への対応
- ・生活文化の継承・創造
- ・地域産業の活力の低下、マネジメント能力の育成
- ・生徒の生活体験の減少等による基礎的・基本的な技術の低下

育成する人材像

- ・生活の質の向上や社会の発展を図る生活産業を通して、地域や社会を支える人間性豊かな職業人

育成する資質・能力

- 個別の知識・技術
生活産業に関する知識と技術、生活産業の社会的意義や役割の理解
- 思考力・判断力・表現力等
生活産業に関する課題を発見し、職業人としての倫理観をもって合理的かつ創造的に解決する能力
- 学びに向かう力、人間性等
職業人として必要な豊かな人間性、より良い社会の構築を目指して自ら学び、生活産業に関わる地域の産業や生活の質の向上を目指して主体的かつ協働的に取り組む態度

見方や考え方等

- ・人間の生活を支える生活産業の視点から、衣食住、ヒューマンサービス等に係る生活事象を捉え、健康・快適・安全な生活の創造、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築に向けて考察し実践すること

科目構成の方向性

- ・調理師法施行令、調理師法施行規則の改正（平成27年4月1日施行）に伴う科目の再編成
- ・食育の推進等、食に関する学習の充実
- ・子供の発達や地域の子育て支援に関する学習の充実
- ・複雑化する経済社会や消費生活の理解に関する学習の充実
- ・生活文化の継承・創造に関する学習の充実
- ・職業人としてのマネジメント能力の育成に関する学習の充実

学びの例～深い学び、対話的な学び、主体的な学び～

- ・知識や技術などを身に付けるための科学的根拠を踏まえた実践的・体験的な学び
- ・生活産業の意義やその社会的役割、職業や関連する資格について理解し、課題を発見するために具体的な事例を取り上げた考察や討論などの学び
- ・マネジメント能力や創造力を育成するために、産業界等との協働による商品開発や企画・提案などの学び
- ・職業人として地域や社会を支える視点から、地域産業との連携を一層深める学び（学校家庭クラブ活動等）

看護科の今後の在り方について（たたき台）

現状と課題

- ・ 少子高齢化の進行、入院期間の短縮、在宅医療の拡大などへの対応
- ・ 多様な患者の状態に応じた医療事故防止への対応と医療安全の推進
- ・ 医療に関する多様な倫理的課題への対応

育成する人材像

- ・ 看護を通して、地域や社会の保健医療福祉を支え、人々の健康の保持増進に寄与する人材

育成する資質・能力

- 個別の知識・技術
看護に関する知識と技術、看護の社会的意義や役割の理解
- 思考力・判断力・表現力等
看護に関する課題を発見し、職業人としての倫理観をもって合理的かつ創造的に解決する能力
- 学びに向かう力、人間性等
職業人として必要な豊かな人間性、より良い社会の構築を目指して自ら学び、人々の健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度

見方や考え方等

- ・ 看護の視点から健康に関わる問題を捉え、人々の健康の保持増進及び疾患や治療の影響を受ける生活の質の向上に向けて考察し、当事者とともに適切に実践すること

科目構成の方向性

- ・ 多職種と連携・協働し、多様な生活の場にいる人々の看護について、専門性の高い実践力を養う学習の充実
- ・ 医療安全に関する学習の充実
- ・ 各領域における倫理的課題に関する学習の充実

学びの例

～深い学び、対話的な学び、主体的な学び～

- ・ 看護に関する知識・技術の科学的根拠を理解するための、実験・実習や調べ学習による体験的・実証的な学び
- ・ 看護に関する知識・技術を確実に身に付けるための、ジグソー法や反転学習、異学年交流、プロジェクト学習などを校内実習に取り入れた主体的な学び
- ・ 看護実践力を養うための、臨地実習や課題を設定したロールプレイ・シミュレーション演習などによる応用的な学び
- ・ 生命倫理や権利擁護、多様な価値観などについて理解を深めるための、事例を活用した協議や振り返りによる深い学び

情報科の今後の在り方について（たたき台）

現状と課題

- ・ 知識基盤社会の到来とグローバル化による情報社会の進展
- ・ 高度な技術を持つIT人材の需要が増大
- ・ 特にインターネット、Webコンテンツの作成、セキュリティ、情報処理サービス、ソフトウェア関連の人材が不足
- ・ 将来の予測が困難な複雑で変化の激しい社会

育成する人材像

- ・ 情報の活用を通して、地域産業をはじめ情報社会の健全で持続的な発展を担う職業人

育成する資質・能力

- 個別の知識・技術
情報の各分野に関する知識と技術、情報産業の社会的意義や役割の理解
- 思考力・判断力・表現力等
情報に関する課題を発見し、職業人としての倫理観をもって合理的かつ創造的に解決する能力
- 学びに向かう力、人間性等
職業人として必要な豊かな人間性、より良い社会の構築を目指して自ら学び、情報産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度

見方や考え方等

- ・ システムの設計・管理分野の視点から情報社会を捉え、情報セキュリティを保ちつつ、情報の科学的理解に基づいた情報技術の適切な活用に向けて考察し、日常生活や社会に必要なシステムを構築すること
- ・ 情報コンテンツの制作・発信の視点から情報社会を捉え、情報セキュリティを保ちつつ、情報の科学的理解に基づいた情報技術の適切な活用に向けて考察し、日常生活や社会に必要なコンテンツを制作すること

科目構成の方向性

- 現在の「システムの設計・管理分野」、「情報コンテンツの制作・発信分野」は維持しつつ、
- ・ 情報セキュリティに関する知識と技術を習得させ、情報の安全を担う能力と態度を育てる学習の一層の充実
 - ・ 情報コンテンツを利用した様々なサービスや関連する社会制度についての知識や技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てる学習の一層の充実
 - ・ システムの設計・管理と情報コンテンツの制作・発信に関する実践力の一体的な習得
 - ・ 情報メディアと情報デザインに関する知識と技術の一体的な習得
 - ・ 問題解決やプログラミングに関する学習の充実
 - ・ 統計的手法の活用やデータの分析、活用、表現に関する学習の充実
 - ・ データベースの応用技術に関する学習の充実
 - ・ ネットワークの設計、構築、運用管理、セキュリティに関する学習の充実
 - ・ コンピュータグラフィックや情報コンテンツの制作に関する学習の充実

学びの例～深い学び、対話的な学び、主体的な学び～

- ・ 知識や技術などを身に付けるための、科学的な根拠を踏まえた実験的・実証的な学び
- ・ 情報産業の意義や実際の職務内容を理解し、情報産業の課題を発見するための、具体的な事例を取り上げた考察や討論などの学び
- ・ 高度な技術力を養うための、産業界等との協働による学習や競技会への参加
- ・ 実社会で実践する力を磨くための、地域との協働によるソフトウェアの開発

福祉科の今後の在り方について(たたき台)

現状と課題

- ・ 医療的ケアなど福祉ニーズの高度化と多様化への対応
- ・ 介護実践における倫理的課題やマネジメント能力・多職種協働を進める能力等への対応
- ・ ICT・介護ロボットなど福祉機器を活用した介護実践への対応

育成する人材像

- ・ 福祉の実践的な学習を通して、人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の発展を担う職業人

育成する資質・能力

- 個別の知識・技術
福祉の各分野に関する知識と技術、福祉の社会的意義や役割の理解
- 思考力・判断力・表現力等
福祉に関する課題を発見し、職業人としての倫理観をもって合理的かつ創造的に解決する能力
- 学びに向かう力、人間性等
職業人として必要な豊かな人間性、より良い社会の構築を目指して自ら学び、広い視野をもって地域福祉の課題と向き合い、主体的かつ協働的に取り組む態度

見方や考え方等

- ・ 福祉の視点から生活に関わる問題を捉え、人間の尊厳と自立支援に向けて考察し、当事者とともに適切に実践すること

科目構成の方向性

- ・ 医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な学習の追加
- ・ 介護従事者に求められるマネジメント能力に関する学習の追加
- ・ 介護従事者に必要な倫理に関する学習の充実
- ・ 介護実践における多職種協働に関する学習の充実
- ・ 介護における福祉用具や介護ロボット等を含む福祉機器に関する学習の充実

学びの例

～深い学び、対話的な学び、主体的な学び～

- ・ 福祉に関する知識や技術を身に付けるための、科学的な根拠を踏まえた実践的・体験的な学び
- ・ 自立生活支援を目指した介護の意義と役割を理解し、具体的な事例検討による考察や課題解決に向けた学び
- ・ 地域社会における多様な福祉ニーズを把握するための実証的な学び
- ・ 介護実践力を養うための実習施設などとの連携による協働的な学び